



ボッシュ、モビリティと環境保全への新たな道を切り開く 2017年は記録的な業績を達成

2018年4月25日
PI 9990 RB Ka/KB

- ▶ 2017年は成功の年:売上高は781億ユーロに増加
- ▶ 2017年に記録的な営業利益率を達成:支払金利前税引前利益(EBIT)は53億ユーロに到達
- ▶ ボッシュ CEO デナー:「大気環境を改善しながらも、人々が移動に不自由を感じないようにすることが私たちの目標」
- ▶ 飛躍的な一歩:ディーゼルエミッションが大気環境に与える影響を縮小
- ▶ ソリューション:規制値を大きく下回るディーゼルエンジンのNOx排出量
- ▶ 戦略:分野横断的で、相互操作が可能なIoTエコシステム

シュトゥットガルト/レニンゲン(ドイツ) – ボッシュ・グループは、景況が厳しく推移する中でも、2018年にさらなる成長を達成することを目標に掲げています。ボッシュは2017年に記録的な業績を達成することができましたが、2018年の売上高成長目標は、経済的および地政学的要因に由来するリスクを考慮した上で、2~3%と設定しました。2018年の第1四半期において、売上高は前年同期と同じ高い水準で推移しており、為替調整後も約5%伸びています¹。ボッシュ取締役会会長のフォルクマル・デナーはレニンゲンで開かれた年次報告記者会見において、「私たちはネットワーク化に関する包括的な専門知識と業界や製品に関する広範なノウハウを組み合わせ、確固とした地位を築いています。そして、これがボッシュ・グループならではの強みになっています」と述べています。デナーがボッシュの課題として筆頭に挙げたのが、人々の生活の質の向上と、環境および気候の保全に寄与することです。「ボッシュのコーポレート・スローガンである「Invented for life」には、環境保全に可能な限り寄与する技術を開発したいという私たちの意欲が込められています。そして、大気環境を改善しながらも、人々が移動に不自由を感じないようにすることが、私たちの目標です」。ゼロエミッション(排出ガスのない)交通を実現できるよう、ボッシュはeモビリティ、内燃機関の両面で強化を図るために多大な投資を行っています。

¹ 売上高の伸び率は、新たに設定された連結決算対象グループをもとに計算されています(このグループには昨年末に売却されたスターターモーター&ジェネレーター事業部は含まれていません)。

革新的なディーゼル技術:かつてないほど少ない NOx 排出量

ポッシュは、ディーゼル技術について飛躍的な一歩を遂げました。ポッシュのエンジニアは新しいディーゼル技術により、NOx 排出量を規制値の 10 分の 1 まで抑えることに成功したのです。この技術を搭載したテスト車両では、1km 走行あたりの NOx 排出量がすでに平均で 13mg まで抑えられており、2020 年以降に導入予定の 120mg という規制値を大きく下回っています。このように、ポッシュの技術があれば、ディーゼルエミッションが大気環境に与える影響をかつてないほど縮小することも可能になります。「ディーゼルには未来があります。ディーゼルはこれからも将来のモビリティソリューションに欠かせない存在であり続けるでしょう」とデナーは述べています。

2017 年の振り返り: 記録的な売上高と営業利益率を達成

2017 年はポッシュにとって素晴らしい年となりました。売上高は 781 億ユーロに達し、成長率は 6.8% (為替調整後では 8.4%) を記録、為替変動によるマイナスの影響は約 12 億ユーロとなり、この業績改善にすべての事業セクターが貢献しました。支払金利前税引前の営業利益 (EBIT) は 53 億ユーロで、前年比で約 17% 増加しました。ポッシュ取締役会副会長で財務を担当するシュテファン・アーセンケルシュバウマーは、「売上高と営業利益率について、昨年度はポッシュの歴史の中で最高の数字を記録しました。また、EBIT も売上高を上回る成長率となりました」と述べています。EBIT は 6.8% と、前年比で 0.6% 増加しました。2017 年は研究開発費として売上高の 9% をわずかに上回る 73 億ユーロを投入し、依然として高い水準を維持しています。

IoT 関連の重要な分野である分野横断的なエコシステム

ポッシュは現実世界において数々のネットワーク化ソリューションを提供しており、スマートモビリティ以外にも、コネクテッド・マニュファクチャリング (インダストリー 4.0)、スマートシティ、スマートホームといった分野に幅広く携わっています。ポッシュは人口の増加、都市化の進行、気候変動などの基本的な課題に重点を置き、約 170 件の [IoT プロジェクト](#) を展開しています。ポッシュは 2017 年に、約 3,800 万台のネットワーク接続対応製品を販売しました。この数は 2016 年よりも約 40% 増加しています。ポッシュでは現在、2 万 5,000 人以上のソフトウェアエンジニアが働いており、そのうち 4,000 人以上が IoT 対応ソリューションの開発に携わっています。ポッシュは、エコシステム全体のデジタル化から生じる事業が今後増えていくと捉えています。たとえば家電製品向けの最大の IoT エコシステムである [ホームコネク](#) は、すでに 28 社の業界パートナーに採用されています。このホームコネクアプリは、コーヒーメーカーから洗濯機まで多岐にわたる家電製品を操作するために活用することができます。

ポッシュは「Logistics 4.0」など、さまざまな業界をつなげる分野横断的なエコシステムに大きな可能性があると考えています。このエコシステムは、製造プロセス、ビルディングサービス、セキュリティやモビリティのためのソリューションをまとめたもので、これらはすべて、ポッシュがアクティブに事業を展開する分野でもあります。フォルクマル・デナーはこれについて、このように強調しています。「分野横断的なエコシステムは IoT 関連の重要な分野ですが、この技術を現実のものにする力を備えているという点で、ポッシュ

は傑出していると言えます。ポッシュの多様性から生まれる競争上の優位はかつてないほど大きくなっていくでしょう」

e モビリティ: マーケットリーダーになるために尽力

ポッシュは、e モビリティについても飛躍的な一歩を遂げるために尽力しています。2017年に、ポッシュは電動パワートレインシステムの製造について 20 件の契約を獲得しました。その額は合計で約 40 億ユーロに上ります。ポッシュは、2020 年以降に電気自動車が [マスマーケット](#) になると生まれると予測しており、その市場を牽引する企業になろうとしています。その一歩として、ポッシュはすでに中国で、米国のスタートアップ企業である Nikola Motor Company、そして商用車向けエンジンを製造する中国最大手の自動車部品メーカーである Weichai Power とともに、燃料電池の量産車への採用を促進させるために活動を展開しています。ポッシュはこうしたコンポーネント事業のほかにも、今年初めに発表された「[system!e](#)」のような、電動走行を実現に近づけるインターネットベースのサービスにも有望な将来があると考えています。

自動運転: コンポーネントの販売からシステムソリューションの提供まで幅広く対応

ポッシュは自動運転への移行を力強く後押ししており、早ければ 2019 年にはドライバー アシスタンス システムの売上高が 20 億ユーロを超えると予測しています。ポッシュは、今年度に 20% の成長が見込まれる市場よりも高い成長率で売上を伸ばしています。例えばポッシュのレーダーセンサーとビデオセンサーについては、売上が約 40% 増加する見込みです。「自動化が進むと、それに伴い技術的な複雑さも増すこととなります。そのため将来的には、個別のコンポーネントだけでなく、オールインワンタイプのソリューションがお客様に求められるようになっていくでしょう。そしてこれが、当社のシステムに関する専門知識が競争上の優位につながる分野となります」とデナーは述べています。ポッシュでは昨年から約 1,000 人増員され、現在は約 4,000 人のエンジニアが自動運転関連のソリューションに取り組んでいます。

コネクテッドドライビング: ライドシェアリング事業に参入

コネクテッドモビリティは、ポッシュが事業の力強い発展を期待している市場のひとつです。この市場は 2022 年までに全世界で 1,400 億ユーロの規模に成長し、2025 年には世界中で 4 億 5,000 万台以上の車両がネットワークでつながると予想されています。そこで、ポッシュは米国のスタートアップ企業である [Splitting Fares \(SPLT\)](#) を買収し、ライドシェアリング事業に参入することにしました。また、この SPLT と 20 社以上のモバイルサービスプロバイダーを新事業部「[コネクテッド モビリティ ソリューションズ](#)」に統合しました。同事業部は電動スクーターのシェアリングサービス「[COUP](#)」も担当しており、このサービスはまもなくスペインのマドリードにも広がる予定です。

2017 年の事業セクター別業績

2017 年は、会社の業績改善にすべての事業セクターが貢献しました。**モビリティソリューションズ** セクターの売上高は、7.8% 増 (為替調整後は 9.4% 増) の 474 億ユーロに達しました。この成長率は世界の自動車業界の 3 倍に上ります。なお、この売上高

には、2017 年末に売却されたスターターモーター & ジェネレーター事業部の売上高も計上されています。また、営業利益率は 7.3%で、2016 年よりも 1%上昇しました。**消費財**セクターについては、売上高が 4.5%増(為替調整後は 6.7%増)の 184 億ユーロに上り、営業利益率は 8.1%となっています。**産業機器テクノロジー** セクターの売上高は、7.8%増(為替調整後は 9.2%増)の 68 億ユーロに達し、営業利益率も 3.3%と、前年比で 2.1%の上昇となりました。さらに、**エネルギー・建築関連テクノロジー** セクターは 4.1%増(為替調整後は 5.8%増)となる 54 億ユーロの売上高を達成し、営業利益率は 4.4%となっています。

2017 年の地域別業績

2017 年の欧州でのボッシュ・グループの売上高は 408 億ユーロに上り、前年比で 5.6%、為替調整後では 6.6%の伸び率となりました。この追い風となったのは、西欧市場の力強い回復とドイツの好調な景気発展です。また、ロシア、ルーマニアなどの東欧諸国やトルコの売上高も著しく増大しました。**アジア太平洋地域(アフリカを含む)**も非常に好調に推移し、売上高は 13.5%増(為替調整後は 16.5%増)の 236 億ユーロに達しました。**北米**でのボッシュ・グループの売上高は、為替調整後も前年度の水準を維持しました。自動車業界の販売低迷と為替変動によるマイナスの影響が響き、売上高は名目ベースで 2%減の 121 億ユーロとなりました。一方、**南米**の売上高は著しく上昇し、16.4%増(為替調整後は 13.2%増)の 16 億ユーロに達しました。

従業員数:IT およびソフトウェア関連の人材需要が引き続き増大

2017 年 12 月 31 日時点で、ボッシュ・グループの総従業員数は全世界合わせて約 40 万 2,000 人となり、前年比で約 1 万 2,900 人増加しました。特に増員されたのは、アジア太平洋地域と中欧・東欧です。ドイツ国内では、約 3,700 人増えて計 13 万 7,700 人になりました。ボッシュの人事部門は 2018 年に高いスキルを持ったスペシャリストや管理職の雇用数を増やす予定で、特に IT やソフトウェア関連のエンジニアを増員したいと考えています。

報道関係対応窓口:

Sven Kahn, 電話番号: +49 711 811-6415

Nicole Neuer, 電話番号: +49 711 811-11390

René Ziegler, 電話番号: +49 711 811-7639

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2017 年の従業員数は約 40 万 2,000 人(2017 年 12 月 31 日現在)、売上高は 781 億ユーロを計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの 4 事業セクター体制で運営しています。ボッシュは IoT テクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドインダストリーに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループ

は、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 440 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売／サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 125 の拠点を約 6 万 4,500 人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886 年にロバート・ボッシュ (1861 ~ 1942 年) がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の 92 % は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っており、残りの株式は創業家であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

さらに詳しい情報は 以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/Boschjapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)